

□ 絵

日本のサンゴ群集	J. E. N. Veron	茅根 創
サンゴの産卵	荒井 孝之・池田 穰・丸山 正	

<特集：サンゴ礁と炭素循環>

温暖化対策におけるサンゴ礁の意義	小宮山 宏	6
通産省における地球環境技術研究開発	本城 薫	10
炭素循環と地球温暖化	角皆 静男	12
サンゴ礁による二酸化炭素の固定	茅根 創	19
サンゴによる石灰化と二酸化炭素の固定		
—サンゴ銅育水槽実験—	大森 保	26
サンゴの放出する有機物—サンゴ卵と粘液状物質について—		
.....荒井 孝之・池田 穰・丸山 正		32
円石藻(ハプト植物門)の石灰化が海水のpHに及ぼす影響	岡崎 恵視・江澤 千佳・市村 宣幸	39
サンゴ礁CO ₂ 吸収/放出説の論点	山田 興一	43
エコ・エネルギー基地としてのサンゴ礁	野崎 健	45
サンゴ礁におけるPCO ₂ の現場測定		
.....北野 寛・斉藤 紘史・三戸 章裕・田村 誠也・高橋 千晴		48
サンゴ礁における炭素循環研究の課題	山室 真澄	52
サンゴ礁システム研究会		57

ドイツの海洋環境研究

—とくにセジメントトラップ実験と古環境の研究について—	川幡 穂高	58
-----------------------------	-------	----

<豆辞典>

生物生産	18/造礁サンゴ	25/サンゴの骨格	38
海洋の微細藻類	42/サンゴ礁	44	茅根 創
地質情報			69
学会掲示板			70
編集後記			72

表 紙

慶良間諸島のサンゴ群集：慶良間諸島は、沖縄本島の西方約40 kmの洋上に点在する、阿嘉島、座間味島など10数の小島からなる。ここでは、日本でももっとも多様性の高い、自然のままのサンゴ群集が見られる。これは、島々とサンゴ礁が多様な環境をつくり、これが復元力の強い多様なサンゴ群集を保持してきたためである。日本のサンゴの種の保存にとって、慶良間諸島はもっとも重要なサンゴ礁の1つである。写真は、枝状、テール状のミドリイシ群集。

(写真・文：J. E. N. Veron；訳：茅根 創)

通商産業省 地質調査所
工業技術院

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan